



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 京福電気鉄道株式会社

コード番号 9049 URL <http://www.keifuku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西田 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部部長

(氏名) 長尾 拓昭

TEL 075-841-9385

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 5,796 | △1.1 | 392 | △6.1 | 356 | △4.9 | 203 | △19.7 |
| 23年3月期第2四半期 | 5,863 | △0.4 | 418 | △16.4 | 375 | △14.8 | 253 | △20.0 |

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 195百万円 (△13.5%) 23年3月期第2四半期 226百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 10.22 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 12.72 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 16,104 | 3,994 | 21.3 |
| 23年3月期 | 15,990 | 3,845 | 20.6 |

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,423百万円 23年3月期 3,297百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | 2.00 | 2.00 |
| 24年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 2.00 | 2.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 11,800 | 2.3 | 500 | 32.6 | 400 | 34.3 | 280 | △1.3 | 14.07 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 20,000,000 株 | 23年3月期 | 20,000,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 95,458 株 | 23年3月期 | 94,924 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 19,904,931 株 | 23年3月期2Q | 19,929,910 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

(参考) 平成24年3月期の個別業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|-------|------|------|------|-------|------|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 2,700 | 12.3 | 170 | 52.7 | 140 | △4.2 | 7 | 03 |

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 10 |
| (5) セグメント情報等 | 10 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 10 |
| 4. (参考) 四半期財務諸表（個別） | 11 |
| (1) (参考) 四半期貸借対照表（個別） | 11 |
| (2) (参考) 四半期損益計算書（個別） | 13 |
| 5. 補足情報 | 14 |
| 事業別成績表（個別） | 14 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による被害が広範囲に及び、景況の悪化が懸念されましたが、その後の復興需要の高まりにより、緩やかな景気持ち直しの動きが見られました。

しかしながら、原発問題や円高の進行、欧米を中心に世界経済に対する懸念が広がるなど、経済の先行きは依然不透明な状況が続くなか、当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、鉄軌道、バス、タクシーなどの運輸業、不動産分譲、不動産賃貸などの不動産業、飲食業、物販業、ホテル業、水族館業、広告代理店業などのレジャー・サービス業におきまして、営業体制の強化に努め、サービスの充実と販売促進の強化に取り組んでまいりました。

東日本大震災直後は、当社グループへの影響もあり、各社において減収傾向を余儀なくされましたが、コスト見直しに加え、各種イベント等の開催を積極的に進めるなど、収益力の向上に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は5,796百万円（前年同期比66百万円、1.1%減）となり、営業利益は392百万円（前年同期比25百万円、6.1%減）となりました。これに営業外収益および営業外費用を加減した経常利益は356百万円（前年同期比18百万円、4.9%減）となり、特別利益および特別損失を加減し、さらに法人税などを控除した結果、四半期純利益は203百万円（前年同期比49百万円、19.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 運輸業

鉄軌道事業におきましては、嵐山線では、平成23年3月の東日本大震災発生にともなう観光需要の落ち込みがありました。平成23年4月より運用を開始した「らんでんカード（ICカードシステム）」の利用が順調に定着するなか、嵐電沿線の名所・旧跡を前面に押し出した企画商品を開発し、エージェントへの営業活動を強化しました。また、「東北支援チャリティトレイン」や恒例となった「妖怪電車」をはじめとする各種イベント電車を運行するなど、嵐電の利用促進とPRに努めました。

また、全国初の試みとして、平成23年5月18日、ヤマト運輸(株)と提携のもと、嵐電（路面電車）を活用しCO2削減を目指した新たな宅配便の集配システムの運用を開始しました。

なお、「らんでんカード（ICカードシステム）」のさらなる利用促進策として、定期券のICカード化の運用を平成23年10月1日から開始しました。

叡山ケーブル・ロープウェイでは、京都バスを始めとする4社局合同企画切符「地下鉄&比叡山きっぷ」を新たに発売したほか、ガーデンミュージアム比叡と連携し、比叡山への団体客（バスツアー）誘致による叡山ケーブル・ロープウェイの利用促進と八瀬・比叡山エリアへの旅客誘致に努めました。

バス事業におきましては、京都バス(株)は、春季繁忙期において京都観光の低迷が続いたことに加え、軽油価格上昇にともなう燃料費等の経費増という逆風の環境が続きましたが、このような状況のなか、不採算路線等の輸送効率化の実施による諸経費の削減に取り組むとともに、増収に向けた新規契約輸送受注等営業施策の拡充や利用促進策を積極的に実施しました。

京福バス(株)は、路線バス事業では、福井市の地域コミュニティバス支援事業への対応を進め、地域住民の方々の意向を踏まえた地域特性に適応した経路・ダイヤを策定し、公共交通空白地域での試行運行を開始しました。

また、高速バス事業では、ホテルチェーンと連携した商品開発や早期割引の設定など増収に向けた諸施策実施の準備を進めました。

その一方で、東日本大震災発生による旅行客数減少の影響もあり、運輸業の営業収益は3,811百万円となり、前年同期に比べ66百万円（1.7%）の減収となり、営業利益は122百万円と、前年同期に比べ34百万円（22.2%）の減益となりました。

② 不動産業

不動産分譲事業におきましては、(株)京福コミュニティサービスが継続的な営業活動を展開し、福井県内において「開発（かいほつ）」土地分譲ならびに「みくにグリーンヒルズ」宅地分譲を行ったほか、新たな土地分譲事業を開始するための諸準備を進めています。

不動産賃貸事業におきましては、「嵐山駅はんなり・ほっこりスクエア」では、テナントとの情報交換を通じ、観光旅客誘致のための商品販売や季節に応じた各種イベントを実施したほか、地元関係団体等や当社関連部門の実施イベントと連携し、嵐山地区の活性化に取り組みました。とりわけ、鳥取市との共同イベント「砂の彫刻展」の実施や初秋のお月見イベント「法輪寺で月を愛でる」の実施など、その文化度の高さが内外で評価されました。

また、平成23年5月には、新規賃貸物件「アソルティ大津京町ビル」を取得し、安定収益源としての賃貸事業部門の強化に努めました。

三国競艇場では、施行者（坂井市）との連携を図り、「三国競艇外向発売所」の機能を最大限に活用するため、場外発売日数の増加など、入場客誘致のための積極的な営業活動に取り組みました。

しかしながら、三国競艇場における売上減少傾向に歯止めがかからない状況が影響するなど、不動産業の営業収益は1,094百万円となり、前年同期に比べ48百万円(4.2%)の減収となり、営業利益は158百万円と、前年同期に比べ36百万円(18.5%)の減益となりました。

③ レジャー・サービス業

飲食業におきましては、平成23年3月、JR博多シティ(JR博多駅ビル)内に開業した「京どぎをん八咫(やた)博多店」が好調な滑り出しとなったほか、名古屋地区の中国料理「吉珍樓」では企業等への営業活動強化に加え、徹底したオペレーション・サービスの向上に取り組み、増収に寄与しました。また、「流れ橋交流プラザ・四季彩館」内の「八幡家」では、土・日限定で地元食材を多用したディナーbuffetを新たに開始するなど、近隣住民の期待にお応えする業態を目指しました。

物販業におきましては、「嵐山駅はんなり・ほっこりスクエア」内に東北3県の特産品を販売する直営店舗「東北支援ショップ」を開店し、震災支援活動を進めたほか、夏季には同スクエア内にビアガーデン(RANDEN EKI-BEER 2011)を当社直営で開業しました。また、フラワーショップ「BOOM(ブーン)」では、母の日に「スパコ・JR京都伊勢丹」への臨時出店に加え、インターネットを利用した商品販売を開始するなど、積極的な販売促進活動を行いました。

水族館業におきましては、平成23年7月に「新ペンギン館」がオープンし、「海洋館」や「新イルカショープール」に続く新たな集客施設として、夏休み期間中の家族客を中心に多くのお客様にご来館いただきました。

以上の結果、レジャー・サービス業の営業収益は1,206百万円となり、前年同期に比べ44百万円(3.8%)の増収となり、営業利益は111百万円と、前年同期に比べ51百万円(86.7%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、受取手形及び売掛金の回収による減少があった一方で、仕掛品の増加や固定資産の取得による増加などにより、前連結会計年度末に比べ114百万円増加し、16,104百万円となりました。

負債は、社債の発行による増加があった一方で、未払金の支払などにより、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、12,110百万円となりました。純資産は、期末配当を実施した一方で、当期純利益による利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ148百万円増加し、3,994百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

前回発表時(平成23年5月11日)の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を変更していません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,222 | 1,249 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,048 | 959 |
| 販売土地及び建物 | 45 | 42 |
| 商品及び製品 | 27 | 30 |
| 仕掛品 | 9 | 80 |
| 原材料及び貯蔵品 | 62 | 62 |
| 前払費用 | 35 | 37 |
| 繰延税金資産 | 15 | 18 |
| その他 | 72 | 73 |
| 貸倒引当金 | △16 | △16 |
| 流動資産合計 | 2,522 | 2,537 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 8,046 | 8,210 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,043 | 984 |
| 土地 | 2,374 | 2,454 |
| 建設仮勘定 | 93 | 66 |
| その他(純額) | 880 | 867 |
| 有形固定資産合計 | 12,438 | 12,582 |
| 無形固定資産 | 145 | 145 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 536 | 492 |
| その他 | 325 | 319 |
| 投資その他の資産合計 | 861 | 812 |
| 固定資産合計 | 13,446 | 13,539 |
| 繰延資産 | | |
| 社債発行費 | 21 | 27 |
| 繰延資産合計 | 21 | 27 |
| 資産合計 | 15,990 | 16,104 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 66 | 61 |
| 短期借入金 | 4,172 | 4,116 |
| 1年内償還予定の社債 | 287 | 365 |
| 未払金 | 765 | 295 |
| 未払法人税等 | 60 | 125 |
| 未払消費税等 | 60 | 72 |
| 賞与引当金 | 240 | 231 |
| その他 | 558 | 553 |
| 流動負債合計 | 6,211 | 5,821 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,054 | 1,394 |
| 長期借入金 | 2,792 | 2,811 |
| リース債務 | 537 | 528 |
| 長期未払金 | 745 | 715 |
| 繰延税金負債 | 290 | 297 |
| 退職給付引当金 | 198 | 208 |
| 役員退職慰労引当金 | 111 | 96 |
| その他 | 202 | 234 |
| 固定負債合計 | 5,933 | 6,288 |
| 負債合計 | 12,145 | 12,110 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000 | 1,000 |
| 資本剰余金 | 270 | 270 |
| 利益剰余金 | 1,999 | 2,163 |
| 自己株式 | △13 | △13 |
| 株主資本合計 | 3,256 | 3,419 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 41 | 3 |
| その他の包括利益累計額合計 | 41 | 3 |
| 少数株主持分 | 547 | 570 |
| 純資産合計 | 3,845 | 3,994 |
| 負債純資産合計 | 15,990 | 16,104 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 営業収益 | 5,863 | 5,796 |
| 営業費 | | |
| 運輸業等営業費及び売上原価 | 5,376 | 5,333 |
| 販売費及び一般管理費 | 68 | 70 |
| 営業費合計 | 5,445 | 5,404 |
| 営業利益 | 418 | 392 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 4 | 3 |
| 負ののれん償却額 | 2 | 2 |
| 雑収入 | 24 | 16 |
| 営業外収益合計 | 31 | 22 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 61 | 51 |
| 社債発行費償却 | 1 | 3 |
| 雑支出 | 10 | 3 |
| 営業外費用合計 | 74 | 58 |
| 経常利益 | 375 | 356 |
| 特別利益 | | |
| 工事負担金等受入額 | 0 | — |
| 固定資産売却益 | 60 | — |
| 補助金 | 19 | 10 |
| 特別利益合計 | 80 | 10 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産圧縮損 | 1 | — |
| 特別損失合計 | 1 | — |
| 税金等調整前四半期純利益 | 454 | 367 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 152 | 123 |
| 法人税等調整額 | 15 | 9 |
| 法人税等合計 | 167 | 132 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 287 | 234 |
| 少数株主利益 | 33 | 31 |
| 四半期純利益 | 253 | 203 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 287 | 234 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △60 | △38 |
| その他の包括利益合計 | △60 | △38 |
| 四半期包括利益 | 226 | 195 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 194 | 165 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 32 | 30 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 454 | 367 |
| 減価償却費 | 427 | 465 |
| 工事負担金等受入額 | △0 | — |
| 負ののれん償却額 | △2 | △2 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 6 | △8 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | △62 | 10 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 7 | △14 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △2 | △0 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4 | △3 |
| 支払利息 | 61 | 51 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △60 | — |
| 固定資産のための補助金 | △19 | △10 |
| 固定資産圧縮損 | 1 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 42 | △64 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 20 | △71 |
| 前払費用の増減額 (△は増加) | △3 | △5 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 9 | △5 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △216 | △87 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | △8 | △22 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | 26 | 12 |
| その他 | 49 | △3 |
| 小計 | 728 | 608 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4 | 3 |
| 利息の支払額 | △61 | △49 |
| 法人税等の支払額 | △57 | △58 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 612 | 503 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △10 | △0 |
| 定期預金の払戻による収入 | 0 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △0 | △0 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △449 | △867 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 66 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △10 | △14 |
| 無形固定資産の売却による収入 | 2 | — |
| 工事負担金等受入による収入 | 0 | — |
| 固定資産のための補助金収入 | 54 | 164 |
| その他 | △0 | 2 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △346 | △715 |

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 245 | 115 |
| 長期借入れによる収入 | 250 | 720 |
| 長期借入金の返済による支出 | △871 | △871 |
| 社債の発行による収入 | 401 | 541 |
| 社債の償還による支出 | △528 | △132 |
| ファイナンス・リース債務の返済による支出 | △80 | △88 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | — | △39 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △4 | △4 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △588 | 238 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △322 | 26 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,646 | 1,184 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,323 | 1,211 |

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|------------------------|---------|-------|----------------|-------|--------------|--------------------------------|
| | 運輸業 | 不動産業 | レジャー・ サービス業 | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | | |
| (1) 外部顧客への営業収益 | 3,863 | 992 | 1,007 | 5,863 | — | 5,863 |
| (2) セグメント間の内部営業収益又は振替高 | 14 | 150 | 155 | 320 | (320) | — |
| 計 | 3,878 | 1,143 | 1,162 | 6,183 | (320) | 5,863 |
| セグメント利益 | 157 | 194 | 59 | 411 | 6 | 418 |

(注) 1 セグメント利益の調整額6百万円はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|------------------------|---------|-------|----------------|-------|--------------|--------------------------------|
| | 運輸業 | 不動産業 | レジャー・ サービス業 | 計 | | |
| 営業収益 | | | | | | |
| (1) 外部顧客への営業収益 | 3,795 | 950 | 1,050 | 5,796 | — | 5,796 |
| (2) セグメント間の内部営業収益又は振替高 | 15 | 144 | 156 | 316 | (316) | — |
| 計 | 3,811 | 1,094 | 1,206 | 6,112 | (316) | 5,796 |
| セグメント利益 | 122 | 158 | 111 | 392 | (0) | 392 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△0百万円はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位：百万円)

| 科 目 | 当第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月31日) |
|-----------|-----------------------------|--------------------------------------|
| (資産の部) | | |
| 流動資産 | 595 | 706 |
| 現金及び預金 | 308 | 265 |
| 未収運賃 | 21 | 8 |
| 未収金 | 6 | 164 |
| 未収収益 | 46 | 44 |
| 関係会社短期貸付金 | 104 | 109 |
| 販売土地及び建物 | 24 | 24 |
| 貯蔵品 | 30 | 34 |
| 前払費用 | 9 | 9 |
| 繰延税金資産 | 18 | 15 |
| その他 | 30 | 35 |
| 貸倒引当金 | △4 | △4 |
| 固定資産 | 10,711 | 10,608 |
| 鉄軌道事業固定資産 | 2,428 | 2,539 |
| 兼業固定資産 | 6,665 | 6,384 |
| 各事業関連固定資産 | 74 | 75 |
| 建設仮勘定 | 80 | 87 |
| 投資その他の資産 | 1,462 | 1,521 |
| 投資有価証券 | 426 | 464 |
| 関係会社株式 | 891 | 910 |
| 出資金 | 1 | 1 |
| 長期前払費用 | 5 | 6 |
| その他 | 138 | 138 |
| 繰延資産 | 27 | 21 |
| 社債発行費 | 27 | 21 |
| 資産合計 | 11,335 | 11,337 |

(単位：百万円)

| 科 目 | 当第2四半期会計期間末 (平成23年9月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年3月31日) |
|---------------|-----------------------------|--------------------------------------|
| (負債の部) | | |
| 流動負債 | 3,979 | 4,372 |
| 短期借入金 | 1,880 | 1,880 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,478 | 1,586 |
| 1年以内償還社債 | 365 | 287 |
| リース債務 | 11 | 11 |
| 未払金 | 35 | 353 |
| 未払費用 | 42 | 65 |
| 未払法人税等 | 6 | 8 |
| 未払消費税等 | 12 | 4 |
| 預り連絡運賃 | 0 | 0 |
| 預り金 | 38 | 80 |
| 前受運賃 | 16 | 16 |
| 前受金 | 0 | 0 |
| 前受収益 | 52 | 42 |
| 賞与引当金 | 36 | 31 |
| その他 | 2 | 2 |
| 固定負債 | 4,988 | 4,594 |
| 社債 | 1,394 | 1,054 |
| 長期借入金 | 2,806 | 2,785 |
| リース債務 | 4 | 9 |
| 長期未払金 | 71 | 71 |
| 繰延税金負債 | 548 | 534 |
| 役員退職慰労引当金 | 40 | 44 |
| 資産除去債務 | 5 | 5 |
| 長期預り金 | 23 | 24 |
| 長期預り保証金 | 95 | 64 |
| 負債合計 | 8,968 | 8,967 |
| (純資産の部) | | |
| 株主資本 | 2,366 | 2,334 |
| 資本金 | 1,000 | 1,000 |
| 資本剰余金 | 270 | 270 |
| 資本準備金 | 270 | 270 |
| 利益剰余金 | 1,109 | 1,077 |
| 利益準備金 | 46 | 46 |
| その他利益剰余金 | 1,063 | 1,031 |
| 固定資産圧縮積立金 | 451 | 474 |
| 繰越利益剰余金 | 611 | 556 |
| 自己株式 | △13 | △13 |
| 評価・換算差額等 | 1 | 35 |
| その他有価証券評価差額金 | 1 | 35 |
| 純資産合計 | 2,367 | 2,369 |
| 負債純資産合計 | 11,335 | 11,337 |

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則及び鉄道事業会計規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

(単位: 百万円)

| 科 目 | 前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 鉄軌道事業 | | |
| 営業収益 | 636 | 632 |
| 営業費 | 581 | 606 |
| 営業利益 | 54 | 25 |
| 兼業 | | |
| 営業収益 | 571 | 629 |
| 営業費 | 530 | 564 |
| 営業利益 | 40 | 64 |
| 全事業 | | |
| 営業収益 | 1,207 | 1,261 |
| 営業費 | 1,111 | 1,171 |
| 営業利益 | 95 | 89 |
| 営業外収益 | 65 | 48 |
| 営業外費用 | 54 | 49 |
| 経常利益 | 107 | 88 |
| 税引前四半期純利益 | 107 | 88 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2 | 2 |
| 法人税等調整額 | 21 | 14 |
| 四半期純利益 | 82 | 71 |

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則及び鉄道事業会計規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

5. 補足情報

事業別成績表 (個別)

| 鉄軌道事業 | | 当第2四半期 累計期間 | 前第2四半期 累計期間 | 前年同期比較増減 | | 前事業年度 |
|----------|----------|----------------------|----------------------|----------|-------|----------------------|
| | | (23.4.1～ 23.9.30) | (22.4.1～ 22.9.30) | 金額 | 率 | (22.4.1～ 23.3.31) |
| 営業 収益 | | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 |
| | 旅客運輸収入 | 592 | 595 | △2 | △0.4 | 1,157 |
| | 嵐山線 | 531 | 535 | △4 | △0.8 | 1,056 |
| | 鋼索線・架空索道 | 61 | 60 | 1 | 2.6 | 100 |
| | 運輸雑収 | 39 | 40 | △1 | △3.3 | 84 |
| | 計 | 632 | 636 | △3 | △0.6 | 1,241 |
| 旅客 人員 | | 千人 | 千人 | 千人 | % | 千人 |
| | 嵐山線 | 3,381 | 3,431 | △50 | △1.5 | 6,727 |
| | 鋼索線・架空索道 | 211 | 197 | 14 | 7.3 | 324 |
| | 計 | 3,592 | 3,628 | △35 | △1.0 | 7,051 |
| 営業 利益 | | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 |
| | 嵐山線 | 10 | 39 | △29 | △74.0 | 34 |
| | 鋼索線・架空索道 | 14 | 15 | △0 | △2.1 | 16 |
| | 計 | 25 | 54 | △29 | △54.0 | 50 |

| 兼業 | | 当第2四半期 累計期間 | 前第2四半期 累計期間 | 前年同期比較増減 | | 前事業年度 |
|----------|------------|----------------------|----------------------|----------|------|----------------------|
| | | (23.4.1～ 23.9.30) | (22.4.1～ 22.9.30) | 金額 | 率 | (22.4.1～ 23.3.31) |
| 営業 収益 | | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 |
| | 不動産業 | 404 | 404 | 0 | 0.0 | 804 |
| | レジャー・サービス業 | 224 | 166 | 58 | 35.0 | 357 |
| | 計 | 629 | 571 | 58 | 10.2 | 1,162 |
| 営業 利益 | | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 百万円 |
| | 不動産業 | 102 | 113 | △11 | △9.7 | 215 |
| | レジャー・サービス業 | △38 | △73 | 34 | 47.6 | △155 |
| | 計 | 64 | 40 | 23 | 58.1 | 60 |